

# KSN 通信 VOL.140

謹んで新春のおよこびを申し上げます。  
旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。  
従業員一同、本年も皆様によりご満足頂けるサービスをご提供できるよう邁進して参りますので、昨年同様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



## ■ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。本年も皆様のお役に立てるよう最大限の努力を致す所存ですので、変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、新年を迎えるにあたりまして、本年も通年通り「干支の意味を考えながら」私達 KSN が目指すべき将来や未来、あるべき姿について考えていきたいと思えます。

本年の干支は庚（かのえ）、十二支が子（ね）、庚子（かのえ・ね）です。子は本来「孳」という字で表されており、孳の由来は、「種子の中に新しい生命がきざし始める状態」という意味を持っています。一説には、子という漢字は、一（はじめ）と了（おわり）という二つの字からなっており、昔の時刻を表す子の刻とは、現代の23時から翌1時、つまり「始まりと終わりが交わる時間」とされています。本年の庚子は、庚「金の陽」子「水の陽」という特徴を持っており、「相生」という関係性にあります。これは、金生水とあって金から水が生じるといったイメージを持っています。また、相生とは、「相手を強める影響をもたらす」といった意味があり、相互に影響をもたらすことによって変化が生まれ、新たな事象がきざし始める事を表しています。始まりと終わりが交わる。まさに変化というイノベーションが動き出す状況です。昨年は十二支最後の「亥」で、次世代への生命への繋がりにから本年の十二支最初の「子」へと引き継がれ、生命の始まり、繁栄や発展の幕開けの年廻りです。

本年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。偶然ではありますが、年廻りの意味を考えると不思議な気持ちになるものです。これを私達の事業活動に置き換えてみると、マネジメント体勢を一新すると共に事業の選択と集中により、国内事業として Sustainable Japan を、海外事業として RKE Renewables を KSN がマジョリティを有するグループ会社として迎えました。これは、まさに新たな始まりと終わりの交差点、「相生」のイノベーションの始まりです。

本年を新たなスタートとして、私達の事業活動を支えていただく全てのステークホルダーの皆様に対して、事業を通じた貢献を行うことによって私達の社会的な使命と責任を果たして参ります。

また、中核となる国内事業の基盤をより強固なものとするため、再資源化事業を行っております堺本社工場においては、設備の老朽化に伴う大規模な改修工事に着手し、お客様のニーズに確実に応えした上で、社会の要求事項に適合した新たな展開を切り開いて参ります。大阪市における一般廃棄物収集運搬事業においては、Sustainable Japan とのグループ間シナジーを最大化し、サービスプログラムの拡充に注力し、その上で RKE Renewables を核としたヨーロッパマーケットへの参入を推し進め、リニューアブルエネジーの先駆者としてのポジションを獲得して参りたい所存でございます。

結びに、皆様方のますますのご発展とご多幸を心より祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 関西再資源ネットワーク  
代表取締役 福田 裕司

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク  
〒592-8331  
大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）  
FAX：072-320-9004